

## 調査結果からみえる課題

## (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

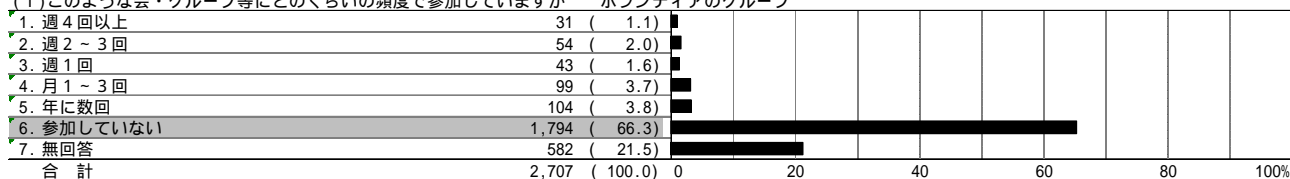
## 地域活動や地域のつながりについて

前回調査に比べて、地域活動（ボランティアのグループ、老人クラブ、町会・自治会等）へ参加している人の割合が全体的に低下している。

なお、いずれの地域活動にも「参加していない」と回答した人の不参加理由は、「必要に迫られていない」が36.5%、「関心がない」が29.5%、「参加する時間がない」が23.9%である。

## 第5. 地域での活動について

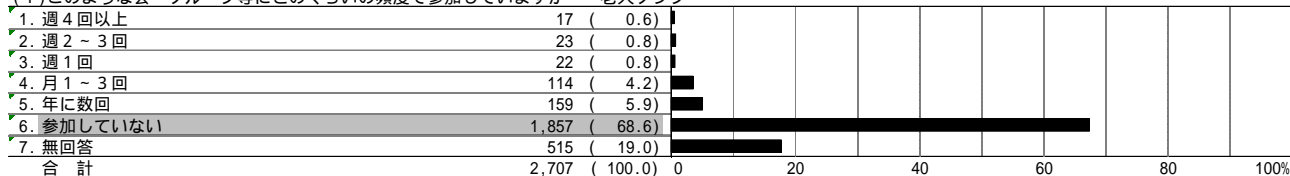
(1)このような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ボランティアのグループ



前回調査は、「参加していない」が59.8%であった。

## 第5. 地域での活動について

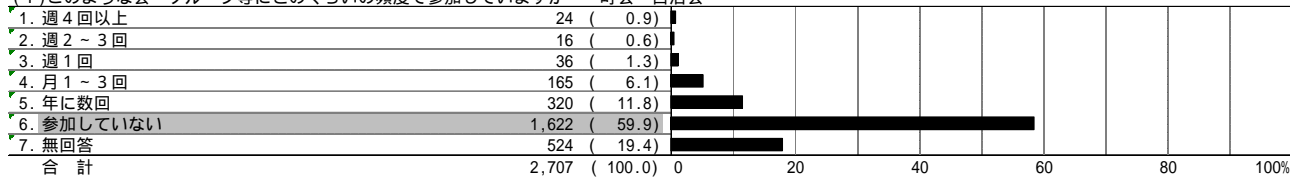
(1)このような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか 老人クラブ



前回調査は、「参加していない」が60.8%であった。

## 第5. 地域での活動について

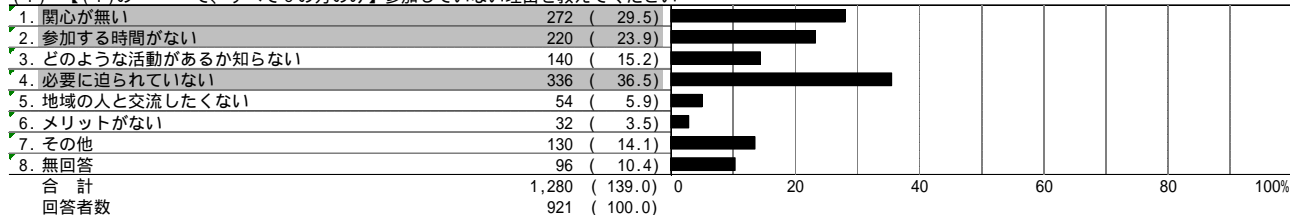
(1)このような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか 町会・自治会



前回調査は、「参加していない」が52.4%であった。

## 第5. 地域での活動について

(1) 【(1)の - で、すべて6の方のみ】参加していない理由を教えてください

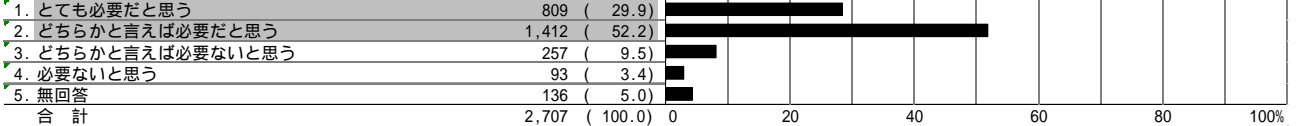


**地域のつながりについては、82.1%の人が「必要である」と回答しているものの、実際の近所付き合いの程度は、「あいさつをする程度」が30.2%、「付き合いはほとんどない」が12.2%であり、「親しく付き合っている」は19.9%にとどまる。**

**なお、「付き合いはほとんどない」と回答した人の主な理由は、「特に理由がない」が26.6%、「ふだん付き合う機会がないから」が21.5%、「仕事や家事などで忙しく時間がないから」が17.8%である。**

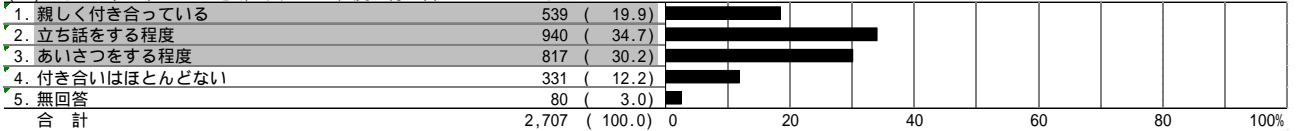
第10. 地域のつながりについて

(1) あなたにとって、地域のつながりは必要だと思いますか



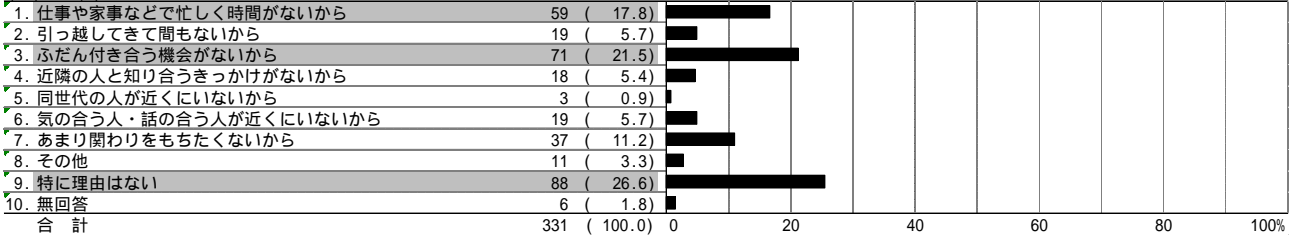
第10. 地域のつながりについて

(2) あなたは、お住まいの地域の人とどの程度の付き合いをしていますか



第10. 地域のつながりについて

(2) 【(2)において4の方のみ】付き合いがない主な理由は何ですか



## 要支援認定者の生活状況やニーズについて

### 要支援認定者のうち、37.5%が「1人暮らし」である。

#### 第1．あなたのご家族や生活状況について

##### (1) 家族構成

	合 計	1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯	5. その他	6. 無回答
全 体	2,707 ( 100.0)	708 ( 26.2)	916 ( 33.8)	91 ( 3.4)	446 ( 16.5)	481 ( 17.8)	65 ( 2.4)
要支援認定者の状況	1. 要支援認定を受けていない	2,307 ( 100.0)	565 ( 24.5)	806 ( 34.9)	87 ( 3.8)	375 ( 16.3)	425 ( 18.4)
	2. 要支援認定を受けている	339 ( 100.0)	127 ( 37.5)	88 ( 26.0)	3 ( 0.9)	65 ( 19.2)	40 ( 11.8)
	3. 無回答	61 ( 100.0)	16 ( 26.2)	22 ( 36.1)	1 ( 1.6)	6 ( 9.8)	16 ( 26.2)

### 要支援認定者は、非認定者に比べて、孤食の傾向が見られ、友人の家を訪ねていないと答えている人の割合が高い。

#### 第3．食べることについて

##### (8) どなたかと食事をとる機会はありますか

	合 計	1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	4. 年に何度かある	5. ほとんどない	6. 無回答
全 体	2,707 ( 100.0)	1,364 ( 50.4)	228 ( 8.4)	529 ( 19.5)	215 ( 7.9)	249 ( 9.2)	122 ( 4.5)
要支援認定者の状況	1. 要支援認定を受けていない	2,307 ( 100.0)	1,217 ( 52.8)	188 ( 8.1)	441 ( 19.1)	169 ( 7.3)	193 ( 8.4)
	2. 要支援認定を受けている	339 ( 100.0)	111 ( 32.7)	36 ( 10.6)	77 ( 22.7)	43 ( 12.7)	51 ( 15.0)
	3. 無回答	61 ( 100.0)	36 ( 59.0)	4 ( 6.6)	11 ( 18.0)	3 ( 4.9)	5 ( 8.2)

注：( )内はサンプル数を100とした割合

#### 第4．毎日の生活について

##### (13) 友人の家を訪ねていますか

	合 計	1. はい	2. いいえ	3. 無回答	
全 体	2,707 ( 100.0)	1,231 ( 45.5)	1,402 ( 51.8)	74 ( 2.7)	
要支援認定者の状況	1. 要支援認定を受けていない	2,307 ( 100.0)	1,104 ( 47.9)	1,148 ( 49.8)	55 ( 2.4)
	2. 要支援認定を受けている	339 ( 100.0)	100 ( 29.5)	221 ( 65.2)	18 ( 5.3)
	3. 無回答	61 ( 100.0)	27 ( 44.3)	33 ( 54.1)	1 ( 1.6)

**要支援認定者は、非認定者に比べて、昨年と比べて外出の回数が減っている人や、外出を控えている人の割合が高く、外出を控えている主な理由は「足腰などの痛み」、「トイレの心配(失禁など)」、「耳の障害(聞こえの問題など)」である。**

第2. からだを動かすことについて

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

	合 計	1. とても 減っている	2. 減っている	3. あまり 減っていない	4. 減っていない	5. 無回答	
全 体	2,707 ( 100.0)	123 ( 4.5)	654 ( 24.2)	848 ( 31.3)	994 ( 36.7)	88 ( 3.3)	
要支援認定の状況	1. 要支援認定を受けていない	2,307 ( 100.0)	62 ( 2.7)	484 ( 21.0)	756 ( 32.8)	933 ( 40.4)	72 ( 3.1)
	2. 要支援認定を受けている	339 ( 100.0)	59 ( 17.4)	153 ( 45.1)	75 ( 22.1)	37 ( 10.9)	15 ( 4.4)
	3. 無回答	61 ( 100.0)	2 ( 3.3)	17 ( 27.9)	17 ( 27.9)	24 ( 39.3)	1 ( 1.6)

第2. からだを動かすことについて

(8) 外出を控えていますか

	合 計	1. はい	2. いいえ	3. 無回答	
全 体	2,707 ( 100.0)	512 ( 18.9)	2,046 ( 75.6)	149 ( 5.5)	
要支援認定の状況	1. 要支援認定を受けていない	2,307 ( 100.0)	315 ( 13.7)	1,866 ( 80.9)	126 ( 5.5)
	2. 要支援認定を受けている	339 ( 100.0)	191 ( 56.3)	127 ( 37.5)	21 ( 6.2)
	3. 無回答	61 ( 100.0)	6 ( 9.8)	53 ( 86.9)	2 ( 3.3)

第2. からだを動かすことについて

(8) 【(8)で1の方のみ】外出を控えている理由(複数回答)

	回答者数	合 計	1. 病気	2. 障害(脳 卒中の後 遺症など)	3. 足腰など の痛み	4. トイレの 心配(失 禁など)	5. 耳の障害 (聞こえ の問題など)	6. 目の障害	7. 外での楽 しみがな い	8. 経済的に 出られな い	9. 交通手段 がない	10. その他	11. 無回答	
全 体	512 ( 100.0)	835 ( 163.1)	77 ( 15.0)	16 ( 3.1)	295 ( 57.6)	100 ( 19.5)	60 ( 11.7)	58 ( 11.3)	74 ( 14.5)	48 ( 9.4)	27 ( 5.3)	71 ( 13.9)	9 ( 1.8)	
要支援認定の状況	1. 要支援認定を受けていない	315 ( 100.0)	494 ( 156.8)	50 ( 15.9)	10 ( 3.2)	166 ( 52.7)	58 ( 18.4)	26 ( 8.3)	33 ( 10.5)	52 ( 16.5)	36 ( 11.4)	13 ( 4.1)	45 ( 14.3)	5 ( 1.6)
	2. 要支援認定を受けている	191 ( 100.0)	332 ( 173.8)	26 ( 13.6)	6 ( 3.1)	125 ( 65.4)	41 ( 21.5)	34 ( 17.8)	24 ( 12.6)	21 ( 11.0)	11 ( 5.8)	14 ( 7.3)	26 ( 13.6)	4 ( 2.1)
	3. 無回答	6 ( 100.0)	9 ( 150.0)	1 ( 16.7)	0 ( - )	4 ( 66.7)	1 ( 16.7)	0 ( - )	1 ( 16.7)	1 ( 16.7)	1 ( 16.7)	0 ( - )	0 ( - )	0 ( - )

**要支援認定者は、非認定者に比べて、「一人で入浴すること」に不安を感じている人や、公衆浴場に「一人で行くことができない」と答えている人の割合が高い。**

第9. お住まいについて

(2) 【(1)で1の方のみ】お風呂に入ることに困りごとはありますか

	回答者数	合計	1. 特にな	2. 浴槽が	3. 足場が	4. シャワ	5. 浴室・脱	6. 見守りが	7. 無回答
			らない	またげ	すべ	ーが	衣所が	ないと	
				ない	る	ない	寒い(特	入れ	
				い			に冬)	ない	
全体	2,564 (100.0)	2,653 (103.5)	2,100 (81.9)	80 (3.1)	43 (1.7)	8 (0.3)	313 (12.2)	44 (1.7)	65 (2.5)
要支援認定の状況									
1. 要支援認定を受けていない	2,202 (100.0)	2,250 (102.2)	1,869 (84.9)	38 (1.7)	26 (1.2)	6 (0.3)	243 (11.0)	21 (1.0)	47 (2.1)
2. 要支援認定を受けている	303 (100.0)	342 (112.9)	181 (59.7)	41 (13.5)	17 (5.6)	2 (0.7)	61 (20.1)	22 (7.3)	18 (5.9)
3. 無回答	59 (100.0)	61 (103.4)	50 (84.7)	1 (1.7)	0 (-)	0 (-)	9 (15.3)	1 (1.7)	0 (-)

第9. お住まいについて

(3) 【(1)で2、(2)で2～6の方のみ】公衆浴場を利用するのに困りごとはありますか

	回答者数	合計	1. 特にな	2. 場所が	3. 一人で	4. 段差が	5. 一人で	6. 料金が	7. その他	8. 無回答
			らない	遠い	で行	がある	で入	高い		
				い	く	・浴	浴			
					こ	槽	す			
					と	が	る			
					が	が	こ			
					深	深	に			
					い	い	不			
					可	可	安			
					能	能	が			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			
					深	深	深			
					い	い	い			
					可	可	可			
					あ	あ	あ			
					る	る	る			
					こ	こ	こ			
					が	が	が			

## (2) 在宅介護実態調査

### 仕事と生活の調和について

主な介護者は、「子」が55.0%で最も多く、次いで「配偶者」が30.7%と約8割が近親者であり、主な介護者の性別は「女性」が66.8%となっていた。

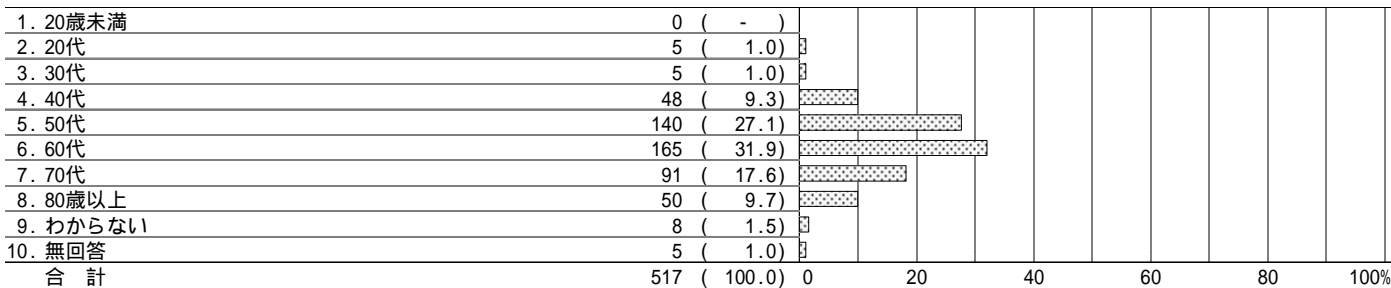
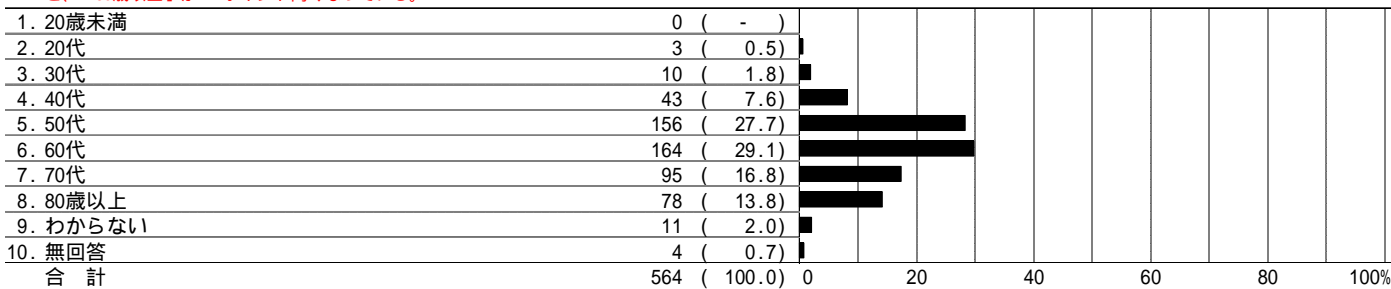
介護者の年齢では、50歳台以上で多くなっている傾向は前回と同様であるが、80歳台の割合が前回よりも、4.1ポイント増えており、いわゆる老々介護の傾向も見られる。

また、介護者の就労継続では、「主な介護者が仕事を辞めた」と答える方が、前回よりも3.6ポイント増えるとともに、「介護のために仕事を辞めた家族はいない」と答える方が、前回よりも1.7ポイント低下しており、介護者の就労継続については、状況が厳しくなっている面も伺える。

問5. [問2で2~5と回答した方](あなたを介護する)主な介護者の方の年齢について

主な介護者の方の年齢は「60代」が29.1%と最も高くなっており、次いで「50代」が27.7%、「70代」が16.8%となっている。H28年度調査と比較すると、「80歳以上」が4.1ポイント高くなっている。

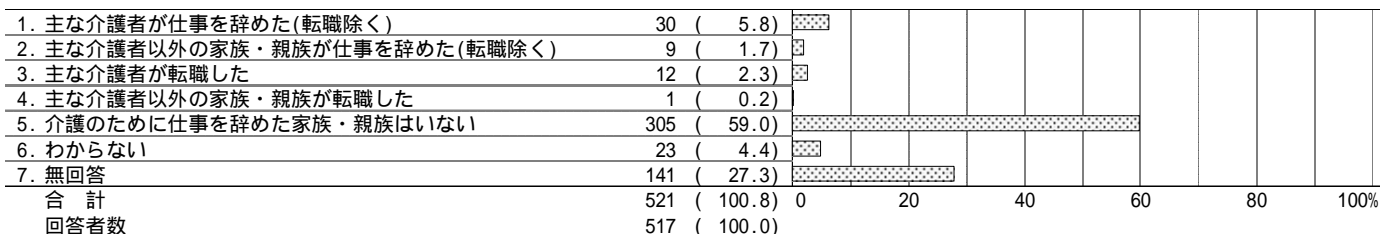
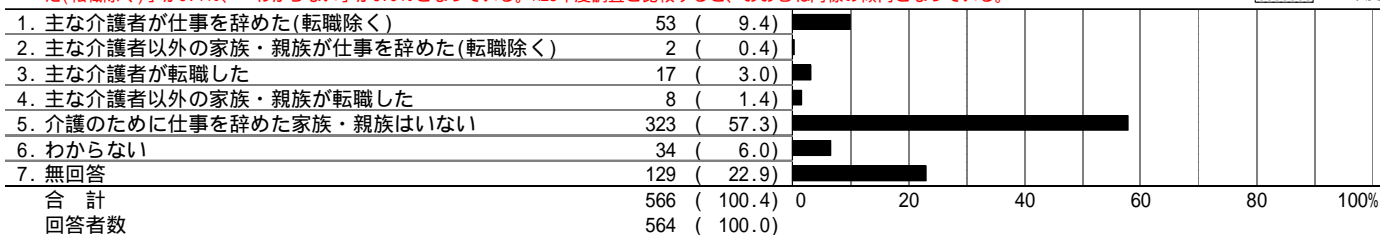
■ R01年度  
▨ H28年度



問7. [問2で2~5と回答した方]ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。また、自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます)(複数回答)

介護を主な理由とした離職状況は「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が57.3%と最も高くなっており、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が9.4%、「わからない」が6.0%となっている。H28年度調査と比較すると、おおむね同様の傾向となっている。

■ R01年度  
▨ H28年度



## 仕事と介護の両立支援について

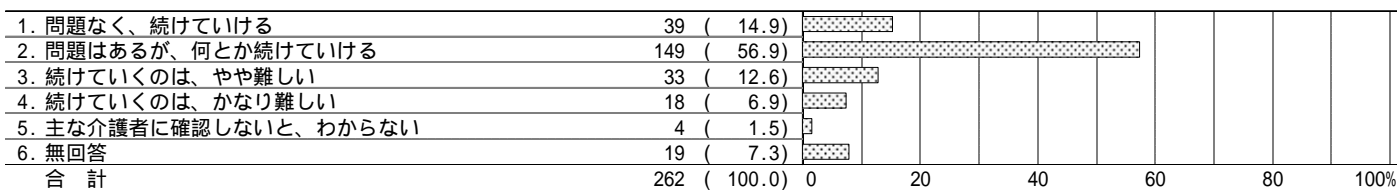
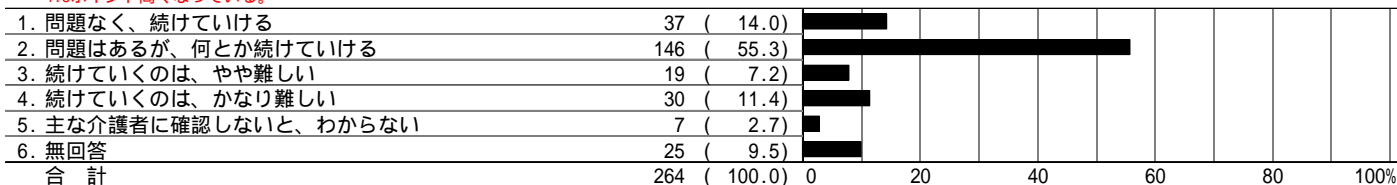
今後も働きながら介護を継続することは、「問題なく、続けていける」が14.0%、「何とか続けていける」が55.3%であるのに対し、「続けていくのは難しい」が18.6%であった。重度の要介護認定者の主な介護者ほど「続けていくのは難しい」と回答していた。

一方、仕事と介護の両立支援策は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(28.0%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(28.0%)、介護をしている従業員への経済的な支援(22.7%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(22.3%)などが企業における取組の上位にあげられた。

問4. [問1で1~2と回答した方]主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか

主な介護者が今後も働きながら介護を続けていけるかは「問題はあるが、何とか続けていける」が55.3%と最も高くなっており、次いで「問題なく、続けていける」が14.0%、「続けていくのは、かなり難しい」が11.4%となっている。H28年度調査と比較すると、「続けていくのは、かなり難しい」が4.5ポイント高くなっている。

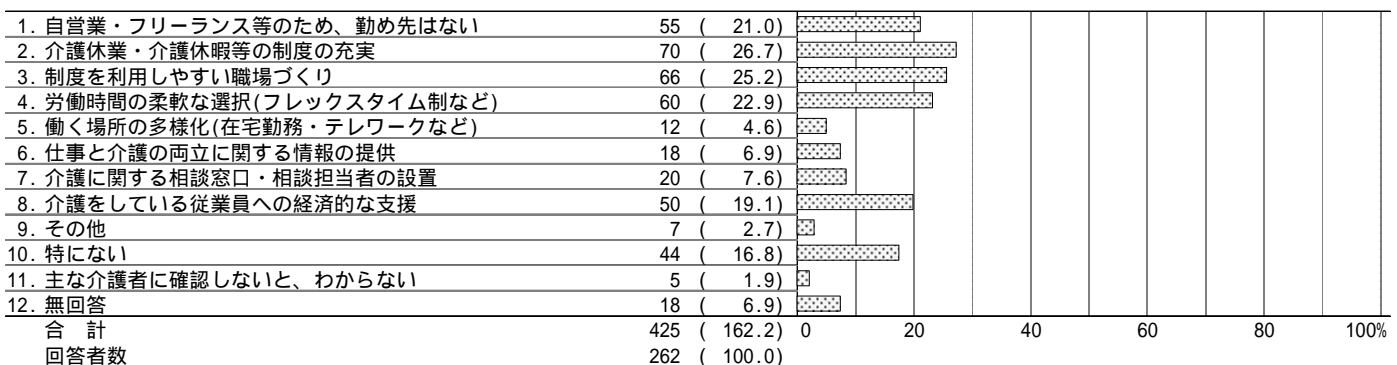
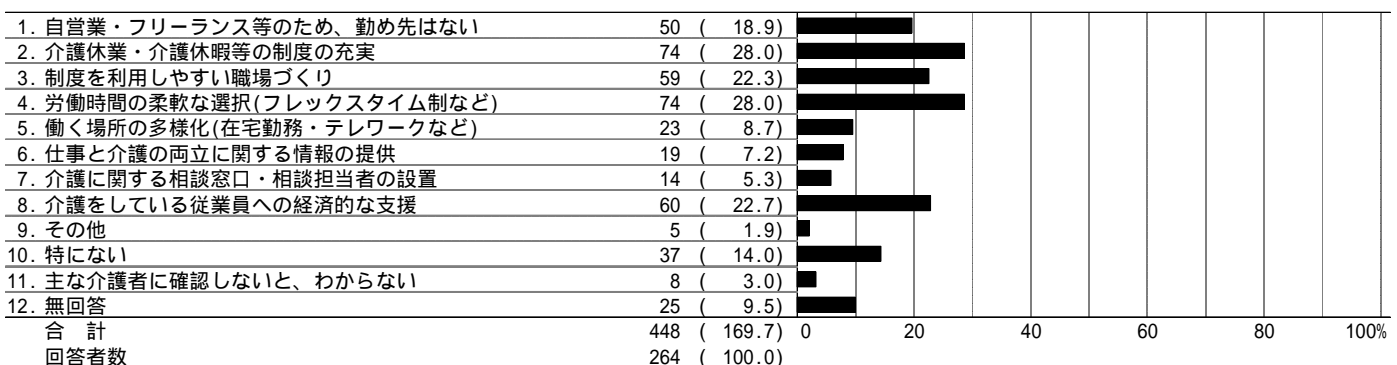
■ R01年度  
 ■ H28年度



問3. [問1で1~2と回答した方]主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか(3つまで)

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援は「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が28.0%と最も高くなっており、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が22.7%、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.3%となっている。H28年度調査と比較すると、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」が5.1ポイント高くなっている。

■ R01年度  
 ■ H28年度



## 主な介護者の不安を感じる介護等の負担軽減について

主な介護者から受けている介護の内容は、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が79.1%で最も多く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.2%、「食事の準備(調理等)」が70.4%、「外出の付き添い、送迎等」が69.9%、「服薬」が53.5%となっており、要介護3・4・5では「その他」を除くすべての介護で全体の割合を上回っていた。

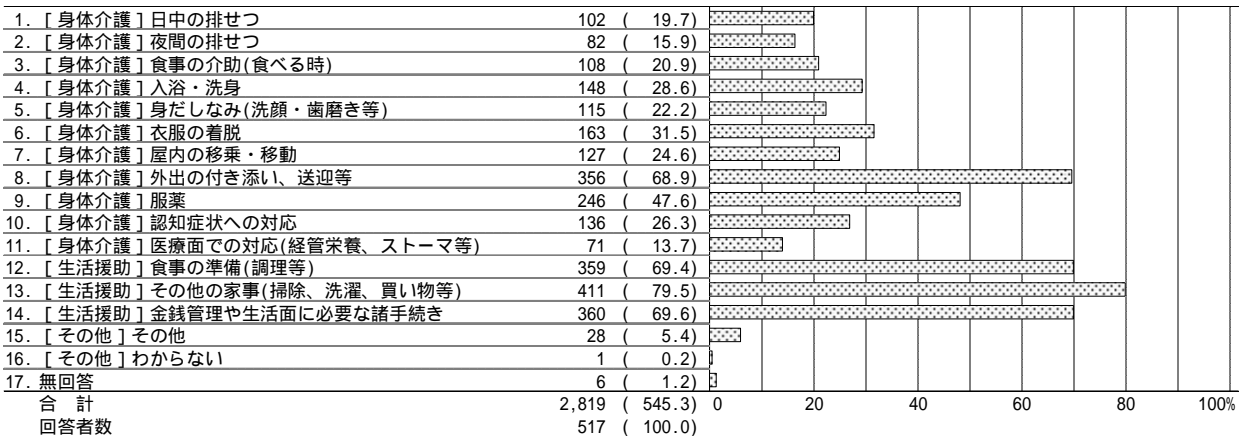
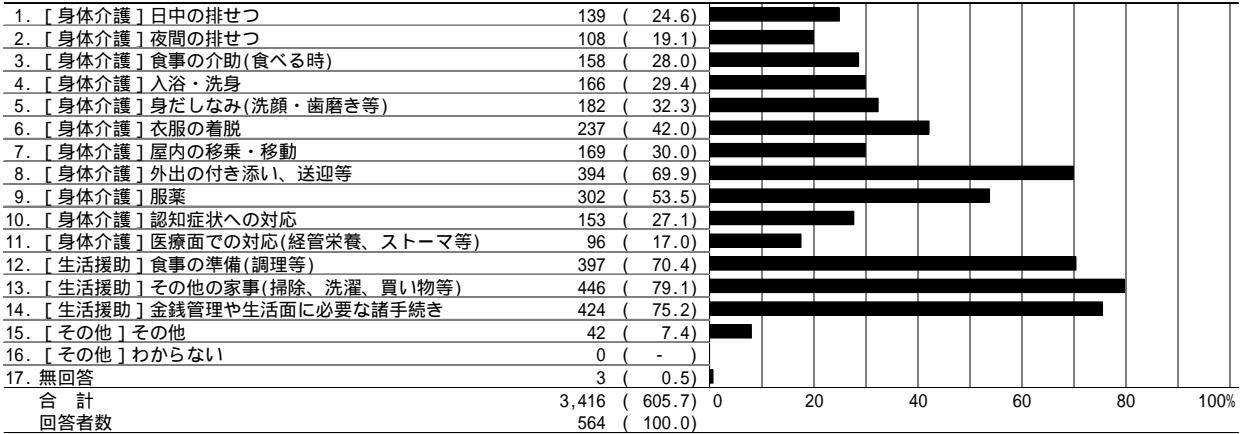
一方、主な介護者の不安を感じる介護等は、「夜間の排せつ」28.6%が最も多く、次いで「認知症状への対応」が26.8%、「日中の排せつ」が23.3%、「外出の付き添い、送迎等」が22.3%、「入浴・洗身」が19.6%となっていた。



問6. [問2で2~5と回答した方]現在、主な介護者の方が行っている、あなたへの介護等は、どれですか(複数回答)

■ R01年度  
 □ H28年度

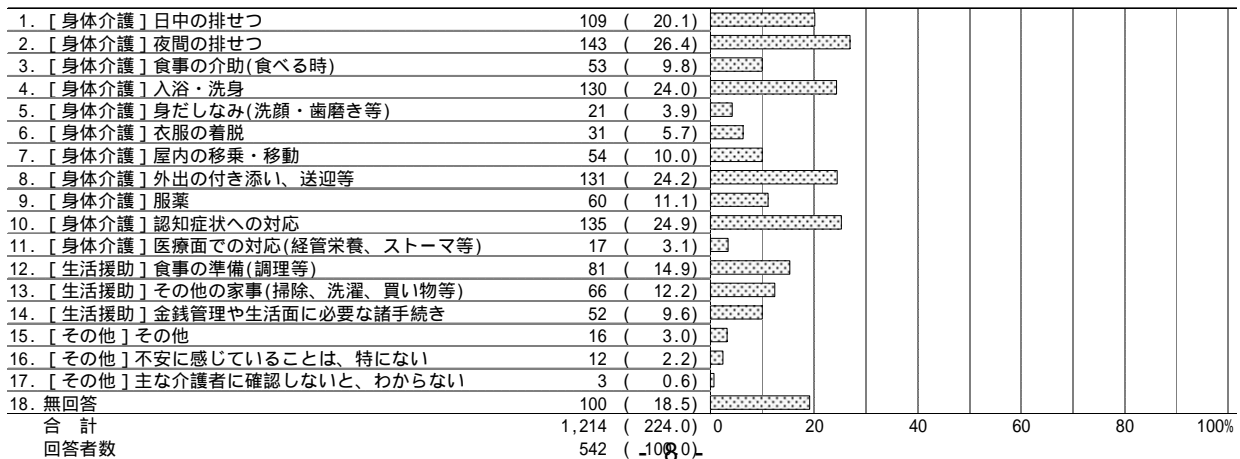
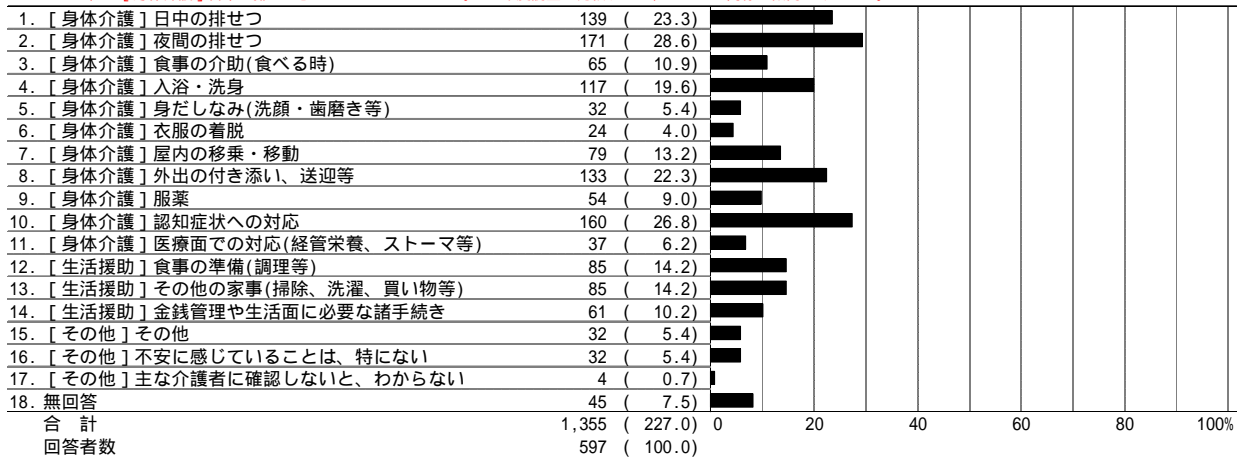
主な介護者の方が行っている介護の種類は「[生活援助]その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が79.1%と最も高くなっており、次いで「[生活援助]金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が75.2%、「[身体介護]外出の付き添い、送迎等」が69.9%となっている。H28年度調査と比較すると、「[身体介護]身だしなみ(洗顔・歯磨き等)」「[身体介護]衣服の着脱」がそれぞれ10.1ポイント、10.5ポイント高くなってきている。



問5. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について(3つまで)

■ R01年度  
 □ H28年度

主な介護者の方が不安に感じる介護は「[身体介護]夜間の排せつ」が28.6%と最も高くなっており、次いで「[身体介護]認知症状への対応」が26.8%、「[身体介護]日中の排せつ」が23.3%となっている。H28年度調査と比較すると、おおむね同様の傾向がみられる。





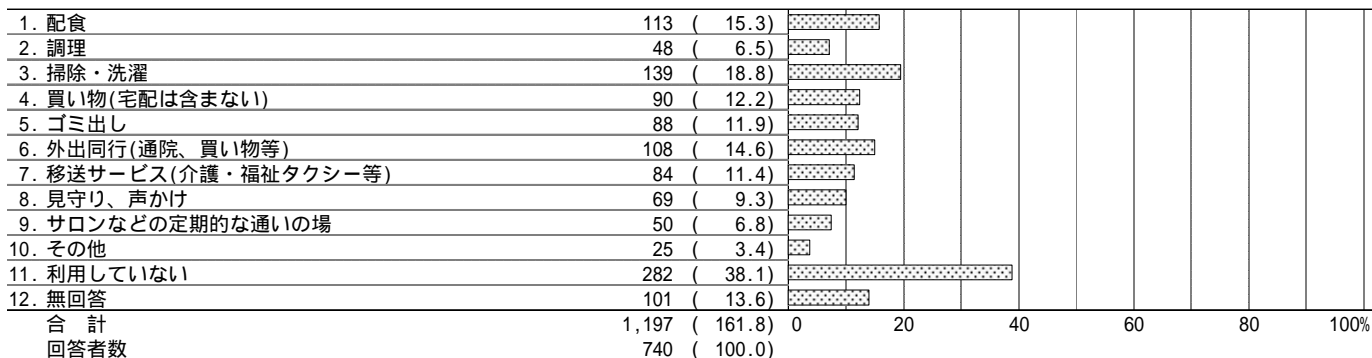
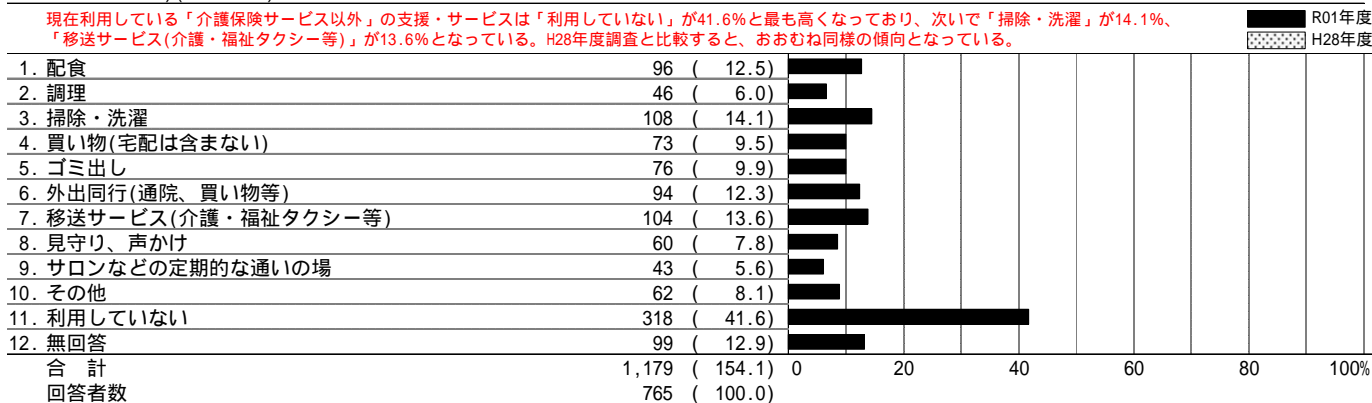
## 生活支援サービスの充実について

利用している介護保険サービス以外の支援・サービスは、「掃除・洗濯」が14.1%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が13.6%、「配食」が12.5%、「外出同行（通院、買い物等）」が12.3%、「ゴミ出し」が9.9%、「買い物（宅配は含まない）」が9.5%となっている。

また、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、「外出同行（通院、買い物等）」が35.4%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」30.5%、「掃除・洗濯」が29.5%、「買い物（宅配は含まない）」が25.4%、「見守り、声かけ」が23.3%となっている。

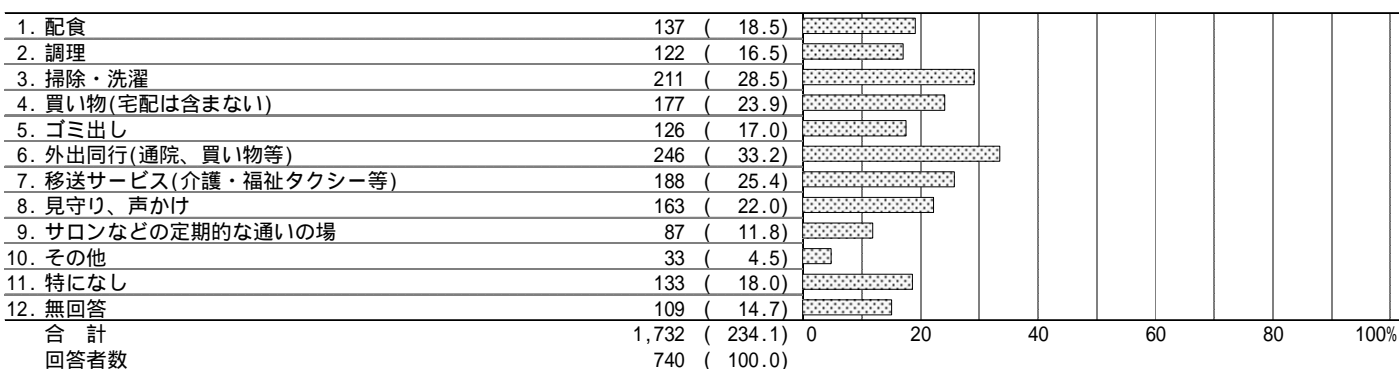
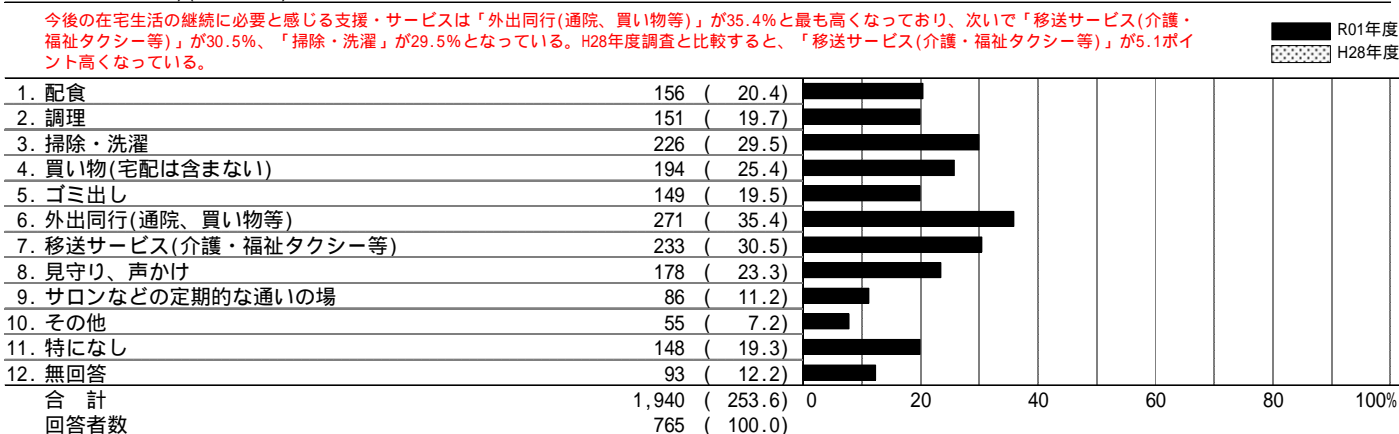
問8. 現在、あなたが利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは、どれですか(総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます)(複数回答)

現在利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスは「利用していない」が41.6%と最も高くなっており、次いで「掃除・洗濯」が14.1%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が13.6%となっている。H28年度調査と比較すると、おおむね同様の傾向となっている。



問9. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは、次のうちどれですか(介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます)(複数回答)

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスは「外出同行(通院、買い物等)」が35.4%と最も高くなっており、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が30.5%、「掃除・洗濯」が29.5%となっている。H28年度調査と比較すると、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が5.1ポイント高くなっている。



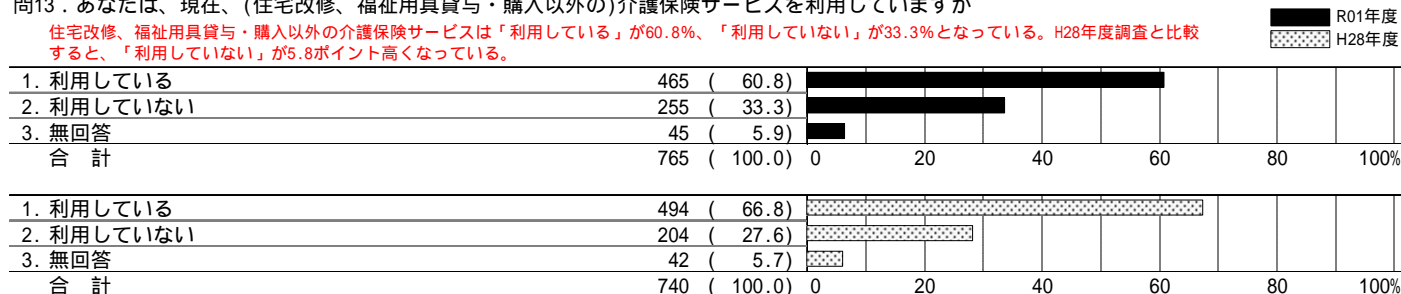
## 介護保険サービスの利用の有無について

介護保険サービス利用については、「利用している」が前回よりも6ポイント低下しており、「利用していない」が前回よりも5.7ポイント増えている。

また、介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」と答える方が前回よりも4.3ポイント低下している一方、「家族が介護するため必要ない」が前回よりも6.6ポイント増える等、家族介護の傾向も見られる。

問13. あなたは、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか

住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスは「利用している」が60.8%、「利用していない」が33.3%となっている。H28年度調査と比較すると、「利用していない」が5.8ポイント高くなっている。



## 今回新設項目(看取り、人生の最終段階での医療やケア、外国人による介護)について

今後、在宅での看取り体制について、さらなる構築が必要とされている中で、新たに聞き取り項目を増やした。前提として、訪問診療の利用状況を見ると、「利用している」と回答した方が、前回調査時よりも8ポイント増えている。

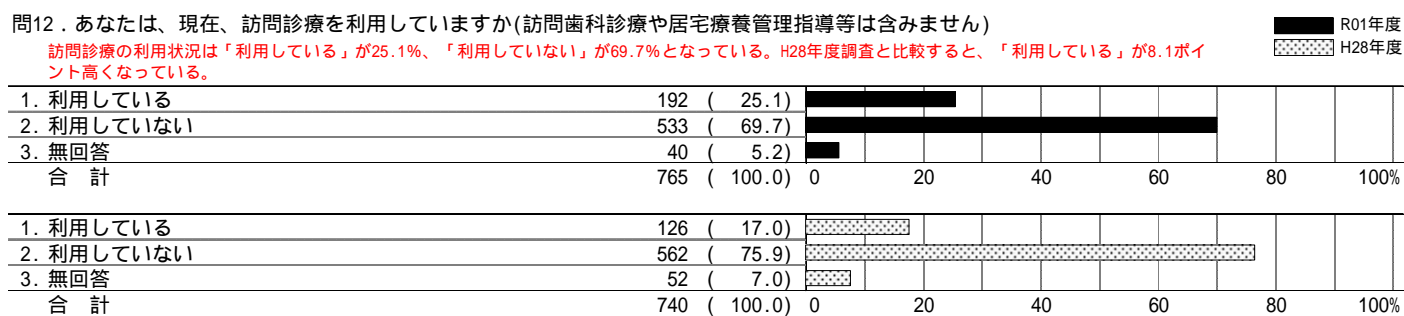
「看取りについての周知度」は、「言葉と内容ともに知っている」26.5%、「言葉は知っている」が32.8%、「初めて知った」が30.5%となり、良く理解している方は、3割以下となっている。

次に、「人生の最終段階での医療やケア」については、「治療を優先した医療を受けたい」が12.4%、「自分のやりたいことや生活を優先した医療を受けたい」が33.3%となり、治療を受けるにしても現在の生活の質を重んじるような答えが多くなっている。

次に、「外国人による介護を受けること」については、「不安がある」と答える方が51%となっている。また、その理由としては、「生活習慣」や「文化」の違いや、日常会話への不安が挙げられている。

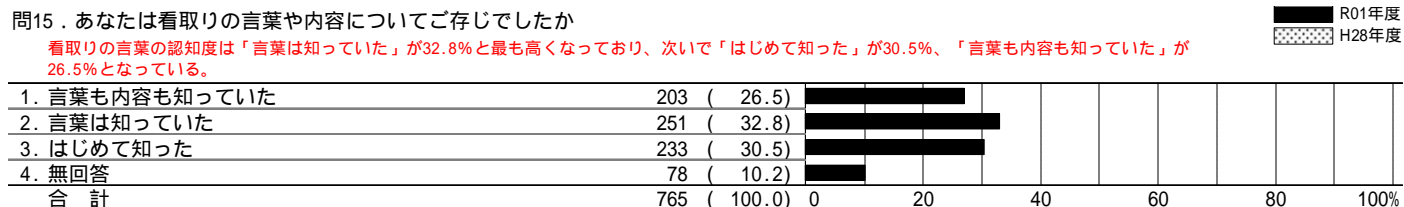
問12. あなたは、現在、訪問診療を利用していますか(訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません)

訪問診療の利用状況は「利用している」が25.1%、「利用していない」が69.7%となっている。H28年度調査と比較すると、「利用している」が8.1ポイント高くなっている。



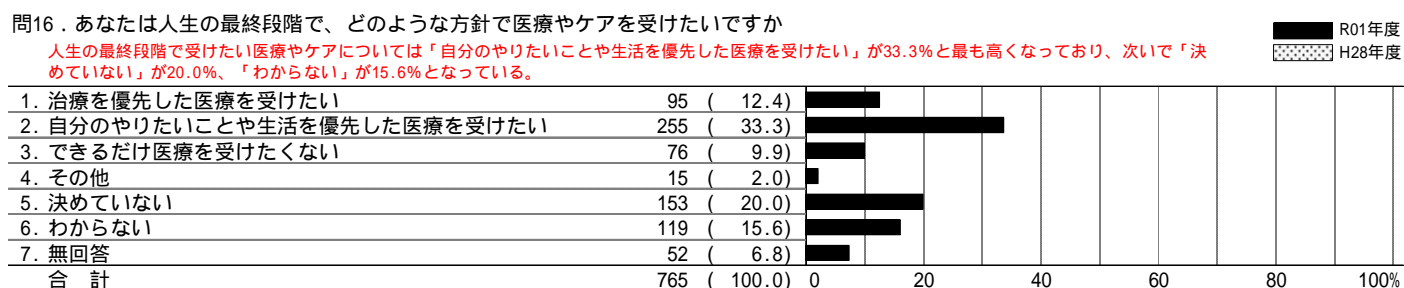
問15. あなたは看取りの言葉や内容についてご存じでしたか

看取りの言葉の認知度は「言葉は知っていた」が32.8%と最も高くなっており、次いで「はじめて知った」が30.5%、「言葉も内容も知っていた」が26.5%となっている。



問16. あなたは人生の最終段階で、どのような方針で医療やケアを受けたいですか

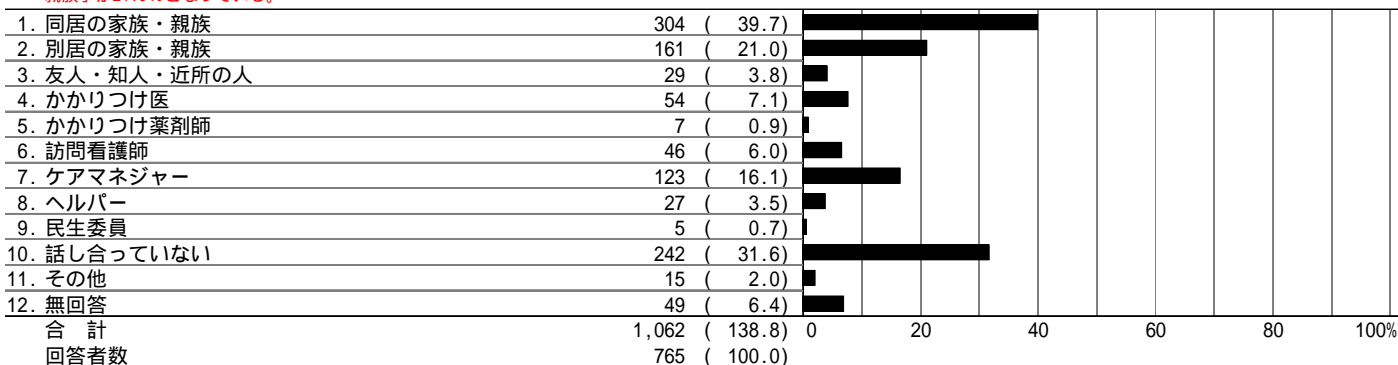
人生の最終段階で受けたい医療やケアについては「自分のやりたいことや生活を優先した医療を受けたい」が33.3%と最も高くなっており、次いで「決めていない」が20.0%、「わからない」が15.6%となっている。



問17. あなたは、人生の最終段階に受けたい医療やケアについて、誰と話し合っていますか(複数回答)

■ R01年度  
 □ H28年度

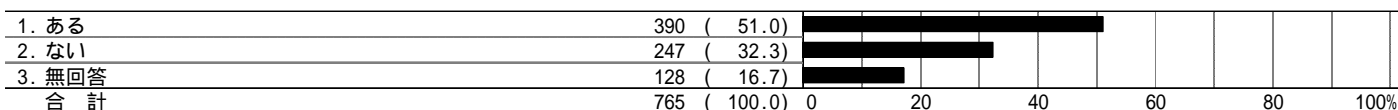
人生の最終段階に受けたい医療やケアは「同居の家族・親族」が39.7%と最も高くなっており、次いで「話し合っていない」が31.6%、「別居の家族・親族」が21.0%となっている。



問20. 外国人による介護を受けることに不安はありますか(教育を受け技術力があり、日本語が話せることが前提です)

■ R01年度  
 □ H28年度

外国人による介護を受けることに対する不安は「ある」が51.0%、「ない」が32.3%となっている。



問20. [問20で「1. ある」と回答した方]どのような不安をお持ちですか

■ R01年度  
 □ H28年度

外国人による介護を受けることに対する不安内容は「日本では常識とすることが通じないなど生活習慣や仕事習慣」が67.7%と最も高くなっており、次いで「相手に失礼な接し方になっているかわからないなど文化の違い」が45.9%、「共通の話題がなく会話がはずまないなどの日常会話」が44.4%となっている。

